

叙 勲（旭日単光章） 山上 恭宏さん（岡山市南区福富西）



岡山市の山上恭宏（やまがみ やすひろ）さんが、11月10日に農林水産省で勲章（旭日単光章）を受章されました。

山上さんは、先代が創業した（株）福田種鶏場へ大学卒業後の昭和38年に入社。その後、同社の副社長、社長、会長として、イギリスで育種改良されたブロイラー雛（チャンキー）の生産・販売事業を展開し、同社を全国屈指のブロイラー雛生産農場へと導かれました。

生業に取り組まれる傍ら、岡山県養鶏協会副会長、岡山県ふ卵協会会長、（社）日本種鶏孵卵協会副会長、（社）日本食鳥協会副会長、日本チャンキー協会会長、（社）岡山県畜産協会理事等の要職を歴任され、本県はもとより全国の養鶏業の振興に貢献されたことで、今回の受章となりました。

（主な取り組み）

1 養鶏業における功績

昭和42年、大型で生産効率に優れたブロイラー種鶏の生産と販売を目的として、福田種鶏場と丸紅との共同出資による「（株）日本チャンキー」を設立し、チャンキー原種鶏（GPS）をイギリスのチャンキー社から導入し、併せて孵化場も開設し、全国に先駆けて、岡山県内での原種鶏の飼育体制と種鶏（PS）の供給体制を整備

昭和55年には、福田種鶏場から供給された雛鶏の成績が、全国でトップとなり、チャンキー種の利用者の全国組織である「日本チャンキー協会」の総会で最優秀賞を受賞

その後地道に生産体制を拡大させ、平成7年には、孵卵機28台により総入卵数165万個の生産体制を築き、西日本屈指のブロイラー孵化場の地盤を確立するに至った。

平成11年以降、オランダのバーネフェルトカレッジ並びにオランダ王立家禽研究所との技術交流を進め、その成果として赤坂中央種鶏場に最新のウィンドレス種鶏舎2棟（オランダVDL社）設置するなど、常に新たな視点にたった経営努力を続けられています。

2 岡山県養鶏協会における功績

昭和52年に理事に、平成元年から副会長に就任し、業務の合理化と事業の再構築など活力ある協会運営に努められました。

特に、消費宣伝活動や鳥インフルエンザ発生時に業界をリードし、献身的に対応され、県内養鶏業の発展に尽力されました。

（岡山県畜産課）